

7年半の歩み

平成23年	
3月11日	14:46 三陸沖を震源とする東日本大震災発生。マグニチュード9.0 震度6強：楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町 震度6弱：広野町、川内村/震度5強：葛尾村
	21:23 政府は東京電力福島第一原子力発電所(以下：第一原発)から半径30km圏内の住民に避難、半径3～10km圏内の住民に屋内退避を指示
3月12日	5:44 政府は第一原発から半径10km圏内の住民に避難指示 15:36 第一原発1号機で水素爆発 18:25 政府は第一原発から半径20km圏内の住民に避難指示
3月14日	11:01 第一原発3号機で水素爆発
3月15日	6:00 第一原発4号機で水素爆発 11:00 第一原発から半径20～30km圏内の住民に屋内退避を指示
4月5日	県教委は、相双地区の県立高校のサテライト方式授業を発表。(双葉高校、双葉翔陽高校、浪江高校、浪江高校津島校、富岡高校)
4月22日	第一原発から半径20km圏外の特定区域(葛尾村・浪江町の一部など)を計画的避難区域に、広野町、川内村などを緊急時避難準備区域に、半径20km圏内(海域を含む)は警戒区域に設定
5月10日	警戒区域への一時立ち入りスタート
9月30日	緊急時避難準備区域解除。広野町は独自に避難指示を継続(町長発令)
10月1日	JR常磐線 久ノ浜駅(いわき市)～広野駅(広野町)間で運転再開

平成24年	
1月31日	川内村、帰村宣言
3月31日	広野町、町長発令の避難指示が解除
10月1日	双葉広域消防本部仮庁舎が楡葉南工業団地に開所
10月12日	双葉警察署臨時庁舎が道の駅ならはに開所

平成25年	
6月17日	帰還困難区域の特別通過交通スタート
8月1日	双葉地方広域市町村組合が、郡内8町村に130台超のカメラを設置し、リアルタイムで映像を配信する「ふたば広域ライブカメラ」の運用がスタートURLはhttp://www.futabagun.jp/futaba-camera
8月26日	セブンイレブン楡葉下小場店が再開。コンビニエンスストアの避難指示区域での営業は初
10月2日	平成25年度から、第一原発より20km圏外の米の作付を再開した川内村で、全量全袋検査を実施。放射性物質はいずれも基準値内
10月19日	広野町総合グラウンドで「ふたばワールド」が14年ぶりに再開
11月27日	広野町で3年ぶりに作付を再開した米を取穫。全量全袋検査を実施し、すべて基準値内
12月27日	埼玉県立旧鶴西高校避難所(最後の避難所)が開鎖

平成26年	
2月22日	常磐道 広野IC～常磐富岡IC再開通
4月15日	楡葉町の木戸川で4年ぶりに鮭の稚魚が放流される
6月1日	JR常磐線 広野駅～竜田駅(楡葉町)間の運行再開
7月31日	楡葉町仮設商業共同店舗「ここなら商店街」がオープン
8月27日	ローソン浪江町役場前店オープン。町内全域が避難区域の自治体へのコンビニは初めて
9月15日	通行不能だった国道6号線の帰還困難区域区間(富岡町本岡～浪江町高瀬)が、自動車に限り自由通行が可能に 軽車両、原動付自転車、自動二輪車、歩行者は引き続き規制対象
10月1日	川内村、毛戸地区の避難指示が解除
10月4日	浪江町で4年ぶりに、水稲実証栽培田で稲刈り。全量全袋検査では、すべて基準値内
11月7日	初の県営災害公営住宅、郡山市に2棟完成。富岡、双葉町民が入居

平成27年	
1月30日	ファミリーマート楡葉町上繁岡店が、旧警戒区域では初めてとなる24時間営業を再開
1月31日	JR常磐線 竜田駅～原ノ町駅間の代行バスサービススタート
3月1日	常磐道富岡IC～浪江IC開通
4月1日	県立ふたば未来学園が開校し、第1期生152人が入学
8月11日	楡葉町で実証栽培されたトルコキキョウがいわき市中央卸売市場へ出荷。同町の農作物が市場に出るのは、震災・原発事故後初めて
9月5日	楡葉町の避難指示が全面解除
10月14日	葛尾村で実証栽培された米の全量全袋検査を実施。すべて基準値を下回り、5年ぶりに市場へ出荷された

平成28年	
1月27日	大熊町大川原地区に「大熊町ふるさと再興メガソーラー発電所」が竣工
2月1日	楡葉町に県立大病院付属ふたば復興診療所(愛称・ふたばリカール)開設
3月5日	公設商業施設ひろののらすが、広野町にオープン
3月15日	川内村複合商業施設「ショッピングセンターY-O-TASHI」がオープン
3月16日	楡葉南工業団地内に建設を進めていた、廃炉作業の遠隔操作機器・装置の開発実証施設「楡葉遠隔技術開発センター」の試験棟が竣工
3月30日	葛尾村に、全村避難後初の飲食店「カフェ嵐が丘」がオープン
4月30日	川内村で「第1回川内の郷かえるマラソン」が開催。約1200人が出場
6月14日	川内村の萩・貝ノ坂地区への避難指示が解除され、全面的に避難指示解除となった
7月30日	楡葉町サマーフェスティバルが6年ぶりに再開
9月1日	楡葉町にFMいわき楡葉中継局が設けられ、町内での受信が可能に
9月12日	双葉町内に帰還困難区域内で初のガソリンスタンドが営業再開
9月15日	富岡消防署臨時拠点、24時間常勤体制に
10月27日	浪江町に仮設商店街「まち・なみ・まるしえ」オープン
11月25日	富岡町の複合商業施設「さくらモールとみおか」で4テナントが先行オープン。翌平成29年3月30日に全館オープンした
12月7日	広野町で「ひろの防災緑地」完成。県内での防災緑地完成は初めて。県道広野・小高線も復旧し、一般利用が始まった

平成29年	
1月24日	楡葉町の蛭田牧場が原乳の出荷を再開。旧警戒区域からの出荷は初
2月25日	南相馬市の真野川漁港に係留していた漁船26隻が本来の港の浪江町・請戸漁港へ帰還した
3月1日	県立高校の卒業式が行われ、サテライト校を設けていた郡内の双葉高、富岡高、双葉翔陽高、浪江高、同校津島校ですべての在校生が卒業し、休校に入った
3月27日	県は双葉町中野地区に整備する、東日本大震災と原発事故の「アーカイブ拠点施設」の基本方針を決定 平成32年夏までのオープンを目指す 浪江町に仮設診療所「浪江診療所」が開所
3月30日	双葉警察署の拠点機能を、楡葉町の臨時庁舎から富岡町の本庁舎へ戻す
3月31日	浪江町、帰還困難区域を除き避難指示解除
4月1日	富岡町、帰還困難区域を除き避難指示解除 JR常磐線の浪江～小高駅間8.9kmが運転再開 富岡～竜田駅間6.9kmは平成29年10月ごろ、浪江～富岡駅間20.8kmは同31年度末までに再開予定 避難区域を支援する広域幹線バスの船引～葛尾、船引～川内の両路線の運行がスタート 富岡町で6年ぶりに路線バスが再開。「急行いわき～富岡線」「富岡町内循環線」の2路線が運行
4月17日	大熊町大川原地区に「大熊食堂」オープン。食堂は、東京電力大熊単身寮に併設している。震災後、町内での飲食店開店は初めて
4月23日	廃炉国際共同研究センターが富岡町内で開所
6月30日	浪江町幾世橋地区に町内初の町営災害公営住宅「幾世橋住宅団地」が整備され、22戸の入居開始
9月15日	双葉町特定復興再生拠点区域復興再生計画が認定される
9月29日	浪江町幾世橋地区に整備した「幾世橋集合住宅」80戸の入居開始
10月1日	広野町に県が整備した復興公営住宅「下北迫団地」への入居開始
10月21日	JR常磐線の竜田～富岡駅間6.9キロの運転が再開。残る浪江～富岡駅間20.8キロは平成31年度末までに再開予定
11月3日	第1回復興支援ふたばサイクルトレインが広野、楡葉、富岡町で開催 震災以前、毎年恒例であった葛尾村のイベント「かつらお感謝祭」が震災後初めて再開
11月10日	大熊町特定復興再生拠点区域復興再生計画が認定される
11月11日	富岡町の秋の風物詩「えびす講市」が7年ぶりに町内で開催される(～12日)
11月25日	浪江町の伝統行事「十日市」が震災後初めて町内で開催される(～26日)
12月3日	楡葉町で第23回ゆるぎの里ロードレースが開催。7年ぶりの再開となった
12月22日	浪江町特定復興再生拠点区域復興再生計画が認定される

平成30年	
3月9日	富岡町特定復興再生拠点区域復興再生計画が認定される
3月26日	富岡労働基準監督署・ハローワーク富岡が再開
3月31日	楡葉町の仮設住宅供与が終了
4月2日	路線バス「富岡～川内線」再開
4月14日	富岡町で8年ぶりに桜まつりが開催
4月23日	ふたば医療センター附属病院が診療開始
5月11日	葛尾村特定復興再生拠点区域復興再生計画が認定される
6月16日	葛尾村復興交流館「あざりあ」がオープン。
6月24日	葛尾村で自転車ロードレース大会「ツール・ド・かつらお」開催
6月26日	楡葉町「ここなら笑店街」オープン
7月11日	富岡消防署新庁舎が町内で開署
7月28日	「ヴィレッジ」営業再開
7月30日	楡葉町に「みんなの交流館 ならはCANvas」オープン
8月15日	富岡町で8年ぶりに麓山の火祭りが開催(福島県指定重要無形民俗文化財)

各自治体の避難の変遷と役場連絡先



東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故により、双葉郡8町村の住民は避難を余儀なくされました。事故後の避難の変遷や避難指示解除の状況、公立小中学校の再開状況を町村ごとにまとめました。(平成30年9月現在)

浪江町	町民の現在の主な避難先 福島市、いわき市、郡山市、二本松市、南相馬市
平成23年 3月12日	町内の津島地区や全国各地に避難
3月15日	町内避難者を中心に二本松市内へ
4月上旬	県内の宿泊施設などへ二次避難
5月21日	福島市内に初の応急仮設住宅が完成 二本松市、本宮市、桑折町、相馬市、南相馬市にも整備
8月25日	浪江町立浪江小学校、浪江中学校が二本松市内で再開、現在に至る
平成26年 4月 1日	浪江町立津島小学校が二本松市内で再開、現在に至る
平成30年 4月 5日	なみえにしいることも園開園
4月 6日	なみえ創成小学校・中学校開校
◀臨時休業中の学校▶ 浪江町立幾世橋小学校、請戸小学校、大塚小学校、河野小学校、浪江東中学校、津島中学校	
浪江町役場	現在の連絡先
●浪江町役場：浪江町大字幾世橋字六反田7-2 TEL 0240-34-2111	
*二本松事務所、福島出張所、いわき出張所、南相馬出張所設置中	

葛尾村	町民の現在の主な避難先 三春町、郡山市、田村市
平成23年 3月14日	福島市のあづま総合運動公園へ
3月15日	会津坂下町へ
3月23日	一部が柳津町へ
4月～1	会津坂下町や柳津町、金山町などの宿泊施設へ二次避難
6月 8日	三春町に初の応急仮設住宅が完成
平成25年 4月 1日	葛尾村立葛尾小学校、葛尾中学校が三春町で再開。
平成29年 1月31日	三春町に復興公営住宅恵下越団地が完成。
平成30年 4月 6日	村内で葛尾村立葛尾幼稚園、葛尾小学校、葛尾中学校が再開。 応急仮設住宅・借上げ住宅の供与を原則終了。
葛尾村役場	現在の連絡先
●葛尾村役場：葛尾村大字落合字落合 16 TEL 0240-29-2111	
*三春出張所は3月で閉所予定	

川内村	町民の現在の主な避難先 いわき市、郡山市、福島市
平成23年 3月12日	富岡町住民の避難受け入れ
3月15日	全村自主避難を決定。避難先が無い村民はまとめてビッグレットふくしまへ
4月 1日	ホテルなどへの二次避難を開始
4月13日	川内村立川内小学校、川内中学校が郡山市内で再開
5月31日	郡山市内に初の応急仮設住宅が完成
平成24年 4月 1日	川内村立川内小学校、川内中学校が川内村の自校で再開 村内に初めての復興公営住宅完成。 双葉郡内に竣工した初の復興公営住宅となる
川内村役場	現在の連絡先
●川内村役場：川内村大字上川内字早渡 11-24 TEL 0240-38-2111	

楡葉町	町民の現在の主な避難先 いわき市、会津美里町
平成23年3月12日	いわき市へ
3月16日	会津美里町へ
4月10日～	いわき市・会津美里町・会津若松市ほかの宿泊施設などの二次避難所への避難が始まる 会津美里町に初の応急仮設住宅が完成、いわき市にも整備
平成24年 4月 1日	楡葉町立楡葉南小、楡葉北小、楡葉中学校がいわき市内で再開
平成28年3月24日	町内に初の復興公営住宅完成
平成29年 4月 6日	楡葉町立楡葉南小、楡葉北小、楡葉中学校が楡葉町内で再開
平成29年 4月 7日	あおぞらこども園が楡葉町内で再開
平成30年 3月31日	応急仮設住宅・借上げ住宅の供与を原則終了 いわき出張所、会津美里出張所の終了
4月 1日	仮設住宅等対策室の設置
楡葉町役場	現在の連絡先
●楡葉町役場：楡葉町大字北田字鐘堂突 5-6 TEL 0240-25-2111	

双葉町	町民の現在の主な避難先 いわき市、郡山市、福島市、白河市、南相馬市、埼玉県
平成23年 3月12日	川俣町へ
3月19日	埼玉県さいたま市のさいたまスーパーアリーナへ移動
3月30日	埼玉県加須市の旧東立騎西高校へ移動
4月 4日	県内避難者を中心に猪苗代町(リステル猪苗代)などへ二次避難
7月 1日	福島市内の応急仮設住宅へ入居開始。会津若松市、郡山市、白河市、猪苗代町、いわき市にも整備
平成26年 4月 1日	双葉町立双葉南小学校、双葉北小学校、双葉中学校 いわき市内で再開 8月25日 同市の錦幼稚園跡地の仮設校舎に移転、現在に至る
※詳しくは双葉町復興ポータルサイト http://www.futaba-fukkou.jp/ を参照	
双葉町役場	現在の連絡先
●いわき事務所：いわき市東田町2丁目19-4 TEL 0246-84-5200	
*郡山支所、埼玉支所、つくば連絡所、南相馬連絡所設置中	

大熊町	町民の現在の主な避難先 いわき市、会津若松市、郡山市
平成23年 3月12日	田村市などへ
4月 3日	会津地方への二次避難が始まる
4月16日	大熊町立熊町小、大野小、大熊中学校が会津若松市内で再開。
5月29日	会津若松市に初の応急仮設住宅が完成。いわき市にも整備
平成25年 4月 1日	大熊中学校が会津短期大敷地の仮設校舎に移転。
平成26年12月15日	会津若松市の復興公営住宅に入居開始。
大熊町役場	現在の連絡先
●会津若松出張所：会津若松市追手町2-41 TEL 0120-26-3844	
*いわき出張所、中通り連絡事務所(郡山市)、大川原連絡事務所(大熊町内) 現地連絡事務所(大熊町内) 設置中	

富岡町	町民の現在の主な避難先 いわき市、郡山市、福島市
平成23年 3月12日	川内村へ
3月16日	川内村の住民と共に郡山市のビッグレットふくしまへ。友好都市・埼玉県杉戸町のバス手配により、一部住民は埼玉県へ
5月30日	郡山市内に初の応急仮設住宅が完成。大玉村、三春町、いわき市にも整備 富岡町立富岡第一小、富岡第二小、富岡第一中、富岡第二中学校が三春町で再開。
9月1日	郡山市に初の復興公営住宅完成 大玉村、三春町、いわき市にも整備
平成26年11月7日	町内に初の災害公営住宅が完成 町内3か所(154戸)を整備
平成29年3月31日	富岡町立小中学校が町内で再開。
富岡町役場	現在の連絡先
●富岡町役場：富岡町大字本岡字王塚 622 番地の 1 TEL 0240-22-2111	
*いわき支所、郡山支所設置中	

広野町	町民の現在の主な避難先 いわき市
平成23年 3月14日	小野町へ
3月15日	小野町、平田村、石川町、浅川町、いわき市、埼玉県三郷市の避難者を町避難所として指定
4月9日	宿泊施設へ二次避難
6月3日	いわき市内に初の応急仮設住宅が完成
8月25日	広野町立広野小学校、いわき市内で再開
10月1日	広野町立広野中学校、いわき市内で再開
平成24年 8月27日	広野小学校、広野中学校が広野町内の自校で再開
平成26年 8月25日	ふたば未来学園開校のため、広野中学校が広野小へ移転。現在に至る
10月7日	町内に初の復興公営住宅完成
平成29年 3月31日	町内2カ所目 災害公営住宅完成(大平未開団地) 応急仮設住宅や借上げ住宅の供与終了
広野町役場	現在の連絡先
●広野町役場：広野町大字下北迫字苗代替 35 TEL 0240-27-2111	

「ふたばの明日を考える会」について



東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故で被災した福島県双葉郡の8町村で復興推進業務に携わる実務者が相互交流し、未曾有の災害からの復興推進施策のあり方について「Take & Give」の精神で討議しようとして、平成27年冬にスタート。福島大学うつくしまふくしま未来支援センター相双地域支援サテライトがコーディネートし、毎月1回、定例会を開いています。この地図は、そこのアイデアにより、誕生しました。

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター(FURE) 相双地域支援サテライトについて

福島大学は平成23年4月、東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故で生じた地域課題を克服し、復旧・復興を支援しようとして「うつくしまふくしま未来支援センター(FURE)」を設置しました。そして同24年6月、相双地区と大学をつなぐ現地の拠点として、サテライトを川内村に開設しました。同27年8月に本所を楡葉町に移し、川内村のサテライトは川内分室になり、さらに同29年5月には南相馬市に南相馬分室を設けました。職員は、地域再生をめざし、コミュニティ再生や教育環境の整備など、住民に寄り添ったソフト面の支援を行っています。また大学の持つノウハウを活用し、住民同士や住民と行政、自治体間など、地域連携をサポートしています。



双葉郡PR動画です!ぜひご覧ください



「ゼロから立ち上がる原発事故被災地域」
福島大学FURE相双地域支援サテライトと「ふたばの明日を考える会」が協力し双葉郡PR動画を作成しました。